

環境研究・技術開発推進戦略専門委員会における 今後の検討について

1. 背景

環境研究・環境技術開発については、平成18年3月30日に「環境研究・環境技術開発の推進戦略について（答申）」がとりまとめられ、「持続可能な社会」に向けた環境研究・環境技術開発に関する方針・ビジョンを含めた推進戦略が示されたところである。また、これとほぼ同じ時期に、政府は第3期の「科学技術基本計画」（平成18年3月28日）を閣議決定した。この中で、第2期に引き続き、「環境」は特に重点的に研究開発を推進すべきとする4分野の1つに位置づけられたところである。

上記の答申では、同答申に示された推進戦略を確実に実施するため、中央環境審議会のもとに設置された適切な会議体において、専門的見地から、環境省が作成する推進戦略の実施方針への助言及びフォローアップを行うべきであるとされたところである。

2. 検討内容

（1）実施方針への助言

「環境研究・技術開発推進戦略専門委員会」において、技術的専門的な見地から、環境省が作成する推進戦略の実施方針への助言を行う。

（2）実施方針のフォローアップ

上記実施方針についての進捗状況の定期的な把握、環境問題の現状を踏まえた重要課題等の見直し、進捗状況を踏まえた次なる方向性、次なる目標の明確化及び推進戦略の着実な実施に向けたナビゲーションを行い、実施方針のフォローアップに関して必要な議論を行う。

3. スケジュール

平成19年3月（目途） 環境省が作成する「環境研究・環境技術開発の推進戦略について（答申）」の内容の実施方針への助言を行う。

平成19～22年度 毎年1～2回程度専門委員会を開催し、当該実施方針の実施状況について、フォローアップを行う。

< 参考 >

「環境研究・環境技術開発の推進戦略について（答申）」（抜粋）

第4章 推進戦略のために強化すべき方策

・戦略の推進体制

実施方針の作成とそれに対する中央環境審議会による助言及びフォローアップ

中央環境審議会のもとに設置された適切な会議体において、専門的見地から、環境省が作成する推進戦略の実施方針への助言を行うとともに、そのフォローアップとして、進捗状況の定期的な把握、環境問題の現状を踏まえた重要課題等の見直し、進捗状況を踏まえた次なる方向性、次なる目標の明確化等、推進戦略の着実な実施に向けたナビゲーションを行う。